

新段階（機構シンポジウム2019） グローバル化の 教養教育における

J'en pense que... ça donne soit de discuter. Un petit coup de rouge?

Alors là, tout à fait d'accord!

If you... it may... difficulty... completing... degree... one.

Okay... next semester... instead

Du Andrea, warst du vielleicht schon mal in der Vorlesung "Einführung in die Kunstgeschichte"?

Вот книга, которую ты ищешь.

안녕, 제 시간에 읽을 수 있겠어요?

Từ tuần sau là nghỉ hè rồi. Anh có định đi đâu không?

Cô. Anh định đi biển với gia đình.

下午我們要不要去圖書館借書?

你好認真啊

この点については××氏の△△論文によります

主旨

平成20年7月に策定された政府の「留学生30万人計画」以降、日本国内の大学では、グローバル化の大きな流れが形成されました。駒場では早くからさまざまな取り組みがなされてきましたが、翌21年に東京大学が「国際化拠点整備事業」（グローバル30）に採択されるとその動きは更に加速され、留学生の受け入れ、外国語教育、学生の送り出しなどで、次々とグローバル化の試みが打ち出されてきています。教養教育高度化機構でも、この間さまざまな取り組みを積み重ねてきました。

こうして平成31年現在、われわれは10年前とは比べものにならないほど国際色豊かなキャンパスを目の前にしています。本シンポジウムでは駒場で展開されているさまざまなグローバル化の取り組みのうち、特に本学学生の短期的な流動に焦点を合わせ、機構での経験を他の取り組みと突き合わせつつ、新たなステージに入ろうとしている駒場のグローバル化の課題を明らかにし、その解決の方途を探ります。

日時 平成31年3月13日（水）13～18時

会場 東京大学駒場キャンパス
21 Koncee East K011（シンポジウム）
+ West MM ホール（ポスター発表、懇親会）

主催・共催

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構 国際連携部門
東京アジアリベラルアーツイニシアティブ（SALU）

問い合わせ先

東京大学リベラルアーツ・プログラム（SALU） salu@salu.u-tokyo.ac.jp 参加費無料・来聴歓迎！

プログラム

総合同会 原和之（国際連携部門長・総合文化研究科教授）

13:00 開会挨拶 石田淳（総合文化研究科長・教養学部長）

13:10 趣旨説明 西中村浩（教養教育高度化機構長・総合文化研究科教授）

13:20 【基調講演】教養学部のグローバル化

——その軌跡と現状—— 月脚達彦（国際交流センター長・同右）

第1部

13:50 他者を理解する、人と人との付き合い方を学ぶ

——南京大学との学生交流フィールドワーク 白佐立（国際連携部門・特任准教授）

14:10 SDGs 時代における国際機関との連携 井筒節（国際連携部門・同右）

14:30 東アジア・西太平洋地域諸大学との教育交流

——東京アジアリベラルアーツイニシアティブの経験 岩月純一（総合文化研究科教授）

14:50 休憩

第2部

15:10 トライリンガル・プログラムらしい海外研修とはなにか？

——中国語を例として 石井剛（総合文化研究科教授）

15:30 学生のモビリティ拡大に伴う支援 GOの役割と課題

君康道・大澤麻里子（グローバルセッションオフィス・総合文化研究科講師）

15:50 学生セッション 岩永淳志・飯山智史・渡邊椋太

16:20 総合討論

16:50 開会挨拶 原和之

17:00 ポスターセッション・懇談会（18:00終）